

令和6年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人テラス21

1 事業の概要

【全体の事業概要】

『柏市障害者等社会参加コーディネート業務委託事業』が市の方向性が変わり、今年度を持って(4年目)で終了となりました。

今後は、柏市の委託で行ってきました事業を含めて、休眠預金活用事業のなかで行いながら、東葛地域での活動にさらに拡げていけばと思います。

【事業報告】

●柏市障害者等社会参加コーディネート委託事業

4年間の実績と、積み上げてきた『はま RU 型支援』をもとに、就労支援団体や福祉総合相談等の団体とも連携を行い、障害者等(当事者)の就労や社会参加の支援の幅も広がった。

『名前のない美術展』や『みんなの展覧会』を通して、当事者が展示やワークショップの講師を行ったりしたなかで自信を持てて、社会参加のきっかけになった。

福祉事業所の製品の代行販売も扱う事業所が20に増え、売り上げも向上した。また柏版ハンドブック『で・あえーるハンドブック』の動画撮影等を行った。

●光ヶ丘コミュニティースペース(光ヶ丘コミュニティネットワーク事業)

光ヶ丘コミュニティネットワーク運営委員会で支援していた、高齢者の居場所づくり『タウンカフェひかり』の継続支援をしていたが、代表者が活動に復帰できないと分かり、スタッフで話し合いを重ね、7月に活動を休止することになった。

旧タウンカフェひかりの後には、柏市社会参加コーディネート委託事業の活動を継続する『ココ de あえーる』の拠点として活動を行っていくことになった。

子どもの居場所づくり『ピカスタ』は継続して支援をしていく。

●TOKATSUコミュニティリンク(休眠預金活用事業)

東葛エリアでの社会から孤立した方・生きづらさを感じている方を対象に、その人に寄り添いながら、その人の『好き』から地域コミュニティにつなげていく活動や、その人が地域につながるきっかけづくりを行う拠点づくり、またこの活動を支える人材の育成を目的に、今年度の9月から休眠預金活用事業を用いて内部研修等を繰り返しながら、柏市でつながった利用者が東京都美術館やその他の会場で展示をする、またその作品を利用者と一緒に見に行く同行支援活動を行ったり、他市の団体へつないだりと、徐々に活動の幅を広げている。

来年度は、光ヶ丘地域に2拠点、北柏地域に1拠点で拠点活動を展開する予定。拠点を増やしていくとともに、活動を支える人材(コミュニティリンクワーカー)を育成する講座を、今年はプレで柏市で行ったが、来年度は、柏市・我孫子市・白井市で行う予定。

●その他の事業

今年度は未実施